

# 新型コロナウイルス感染症 入院診療計画書

患者用

病名 新型コロナウイルス感染症

主治医氏名: \_\_\_\_\_

担当看護師: \_\_\_\_\_

以下について主治医または担当看護師より説明を受けました。 **患者署名欄**

説明日 年 月 日 氏名 \_\_\_\_\_

月日	入院 月 日 (発症 月 日)	退院	
退院について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快(※)後72時間経過した場合、退院可能となります。ただし、最終的に退院可能かどうかは、医師の判断によります。</li> <li>※解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合をいう。</li> <li>・病状の経過により、他病棟へ移動して頂くことがあります。また、隔離解除となっても継続して入院が必要な場合、他病棟または他院へ移動して頂くことがあります。</li> </ul>		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入院や検査、治療の必要性が理解できる</li> <li>○症状について伝えることができる</li> <li>○感染予防行動を実施することができる</li> <li>○副作用による治療の中断がない</li> <li>○安静の必要性が理解できる</li> <li>○不安に思っていることを表出できる</li> </ul>		
治療・薬剤	<p>○新型コロナウイルス感染症に対して、発症からの日数・合併症・年齢等による重症化リスクの有無、コロナウイルスによる肺炎の状態などに応じて以下の薬剤を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラゲブリオ(モルヌピラビル)：内服の抗ウイルス薬です。下痢や嘔気・嘔吐等の消化器症状、発疹などの副作用があります。</li> <li>・パキロビッドパック(ニルマトレルビル・リトナビル)：内服の抗ウイルス薬です。肝機能障害、皮膚や粘膜のただれなどの副作用があります。また、一緒に内服できない薬が多数あるため、投与前に内服している薬を確認させて頂きます。</li> <li>・抗体療法(ゼビュディ)：点滴で1回投与します。呼吸不全のある方には投与しません。急性のアレルギー反応の副作用がみられることがあります。</li> <li>・ベクルリー(レムデシビル)：点滴の抗ウイルス薬です。酸素投与が必要な中等症・重症の新型コロナウイルス感染症に対して使用されます。肝障害・腎障害・電解質異常といった副作用が報告されています。</li> <li>・ステロイド(デキサメサゾンなど)：過剰な免疫反応を抑える目的で使用します。新型コロナウイルス肺炎に効果があるという報告があります。免疫能を低下させるため感染症が悪化する可能性もあります。短期使用では血糖の上昇・胃潰瘍・不眠等の副作用、解熱での病状の評価が難しくなる可能性があります。</li> <li>・オルミエント(バリシチニブ)：本来は関節リウマチの治療薬で新型コロナウイルス感染症の過剰な免疫反応を抑える目的で使用します。強力な免疫抑制にて感染の悪化・出現、血球減少、肝障害などの副作用があります。</li> <li>・抗凝固剤：新型コロナウイルス感染症の時に、肺血栓塞栓症などの血栓症(血液の塊が血管内にできる)を併発する症例もあり、予防あるいは治療のために血液を固まりにくくする薬を内服することがあります。</li> </ul> <p>ほか、新型コロナウイルス感染症に対して効果が明確でない薬剤が経験的に使用されることがあります。</p> <p>発症からの時間経過、肺炎の程度、酸素の取り込み、発熱などの症状、年齢、合併疾患に合わせてこれらの薬剤を使用するか判断を経時的に行っていきます。</p> <p>入院後に状態が悪化し、人工呼吸器および人工肺(ECMO)が必要な状況となれば、別の医療機関への転院となります。ただし、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては、転院できない可能性があります。</p>		
処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜体温・脈拍・血圧・SpO2値(血中酸素飽和度)・呼吸数を測定します。</li> <li>・必要時は酸素吸入を行います。</li> <li>・安静を保つため、膀胱留置カテーテルを挿入することがあります。</li> <li>・ステロイド治療により血糖上昇することがあるため、血糖測定・インスリン注射を行うことがあります。</li> </ul>		
検 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時に血液検査、尿検査、胸部単純X線撮影(レントゲン)、胸部断層撮影(CT)を行います。</li> <li>・場合によっては、心電図を取ります。</li> <li>・入院時以降は必要に応じて血液検査、その他の検査を行います。</li> </ul>		
活動・安静行動制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器症状の度合いにより安静の指示があります。</li> <li>・呼吸器症状がある場合は、改善のためにうつ伏せ寝を推奨しています。</li> <li>・退院まで、検査時以外は病棟から出ることができません。</li> <li>・売店への買い物はスタッフが代行で行います(入院時以降は週2回、曜日は病室によって異なります)。</li> <li>・入院中に病室を移動して頂くことがありますので、ご協力をお願いします。</li> </ul>		
感染予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜手指消毒を励行してください。</li> <li>・サージカルマスクを装着してください。</li> <li>・痰はティッシュに包んでゴミ箱に捨ててください。</li> </ul>		
食 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事について、糖尿病や心臓病等、持病をお持ちの場合は制限食となる場合があります。</li> <li>・感染予防のため、食器はディスポーザブル(使い捨て)となります。</li> <li>・アレルギーがある場合は、対象を食事から除外します。</li> <li>・酸素投与がなく歩行可能な方はデイルームへの下膳にご協力ください。</li> </ul>		
清 潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワー浴ができます。症状によっては、看護師が体を拭くなど、清潔の援助をします。</li> <li>・浴槽のある浴室は使用不可となっています。</li> <li>・コインランドリーが使用できます。</li> </ul>		
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限はありませんが、必要時はポータブルトイレや差し込み式便器を使用して頂くことがあります。</li> </ul>		
説明時期	入院時	退院決定後	
説明内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病状と治療方針について</li> </ul> </li> <li>○看護師確認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時連絡先</li> <li>・ご自身の携帯番号</li> <li>・入院に対する受け止めや不安等</li> </ul> </li> <li>○看護師説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院生活について</li> <li>・感染予防について</li> <li>・参画型看護計画について</li> <li>・災害時の避難経路について</li> <li>・転倒・転落予防について</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜病状や治療方針、検査結果の説明を行います。携帯電話や院内のトランシーバー等を使用することがあります。</li> </ul> </li> <li>○看護師による指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院や検査、治療の必要性</li> <li>・入院中の感染予防対策</li> <li>・安静、必要時は酸素吸入やうつ伏せの必要性</li> <li>・退院後の留意点について</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師より退院について説明があります。</li> <li>○看護師説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の注意点</li> <li>・外来受診</li> <li>・入院中の買い物等、雑費の後日支払いについて</li> </ul> </li> </ul>

ご不明な点や質問などございましたら、遠慮なくお尋ねください。

